

3 洪水対策

-
- (1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知
 - (2) 河川はん濫時の避難場所
 - (3) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由
-

(1) 「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

問7 あなたは、足立区が発行（区のホームページにも掲載）している「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」を見たことがありますか（○は1つだけ）。

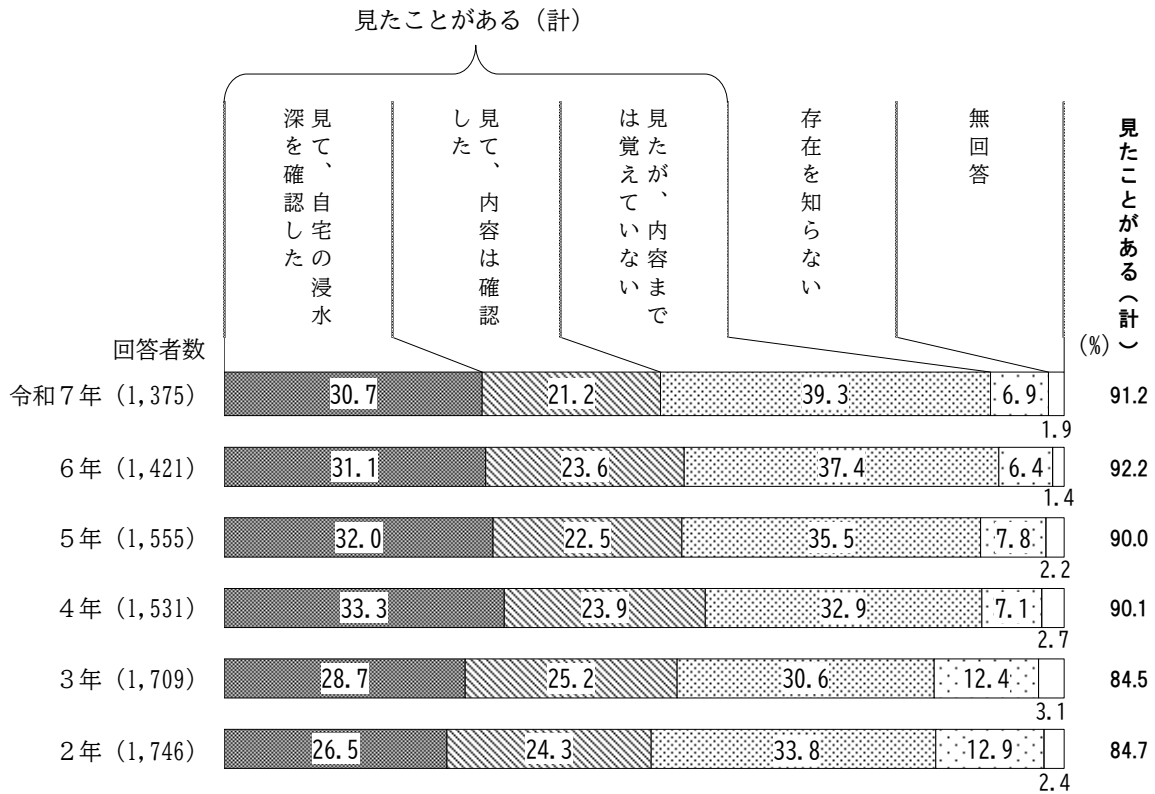
■【見たことがある】は9割強で前回調査と大きな違いはない

ア 単純集計・経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』について、「見たが、内容までは覚えていない」が39.3%で最も高く、次いで「見て、自宅の浸水深を確認した」(30.7%)、「見て、内容は確認した」(21.2%)となり、これらを合わせた【見たことがある】は9割強を占めている。

(イ) 前回調査と比較すると、特に大きな違いはみられない。

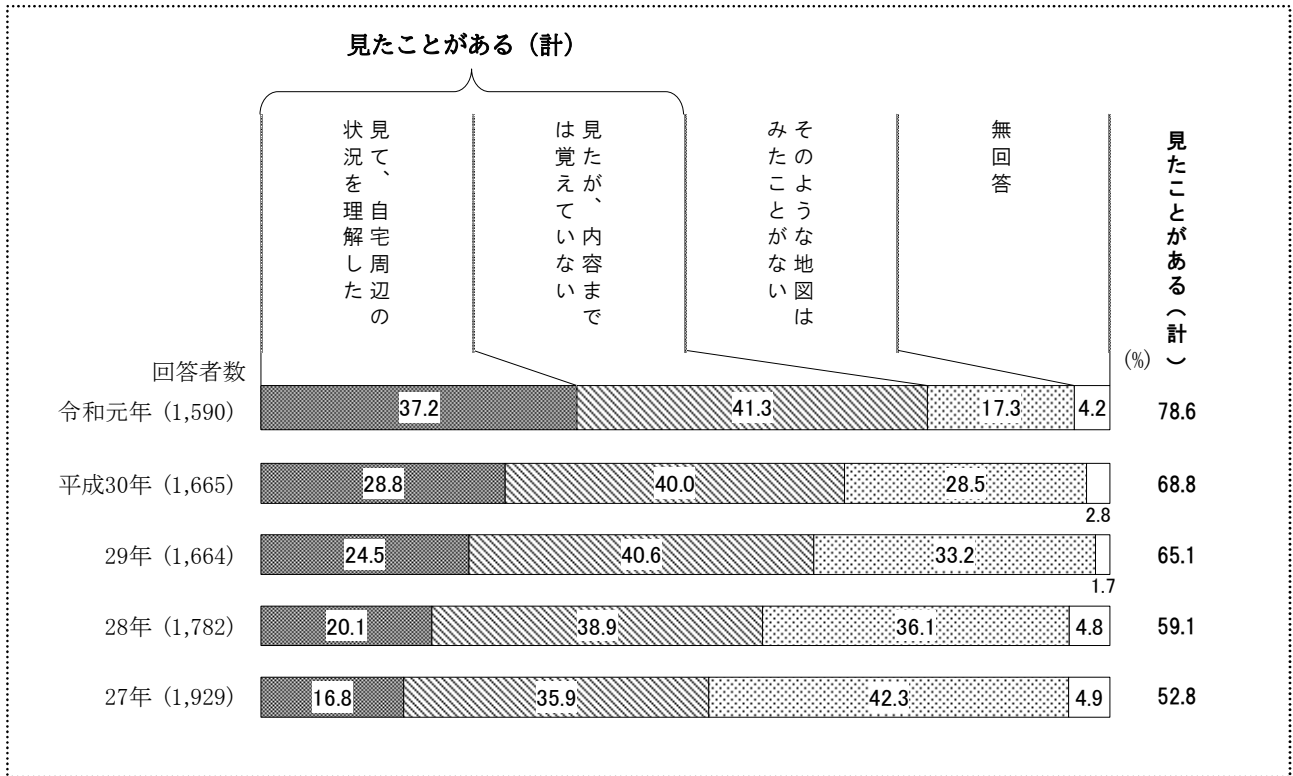
図3-1-1 経年比較／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



※ 令和3年度までの『足立区洪水ハザードマップ』は、令和4年度から、『足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ』に名称が変更となった。

※ 「存在を知らない」は令和4年度までは「そのような地図はみたことがない」。

参考／「足立区洪水ハザードマップ」の認知（令和元年度までの選択肢）



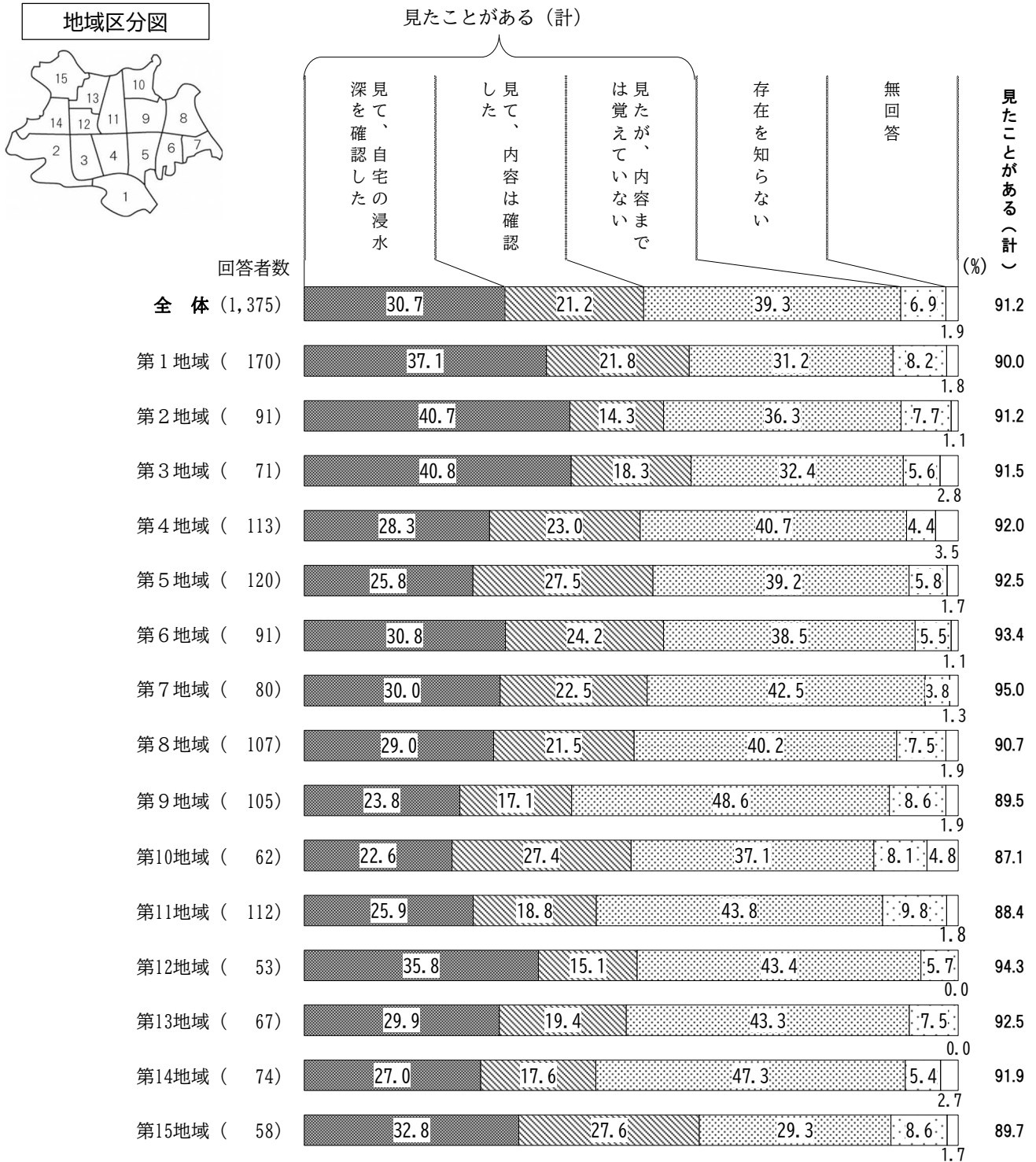
※ 令和2年度から、令和元年度までの「見て、自宅周辺の状況を理解した」が、「見て、自宅の浸水深を確認した」と「見て、内容は確認した」に2分割された。

※ 「見て、自宅周辺の状況を理解した」は、平成27年度は「見たことがあって、自宅周辺の状況を理解した」。

イ クロス集計・地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

地域別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は第3地域で40.8%と最も高く、僅差で第2地域（40.7%）が続いている。逆に、第10地域で22.6%と最も低くなっている。また、【見たことがある】でみると、第7地域で95.0%と最も高く、次いで第12地域が94.3%が続いている。逆に、第10地域が87.1%で最も低くなっている。

図3-1-2 地域別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

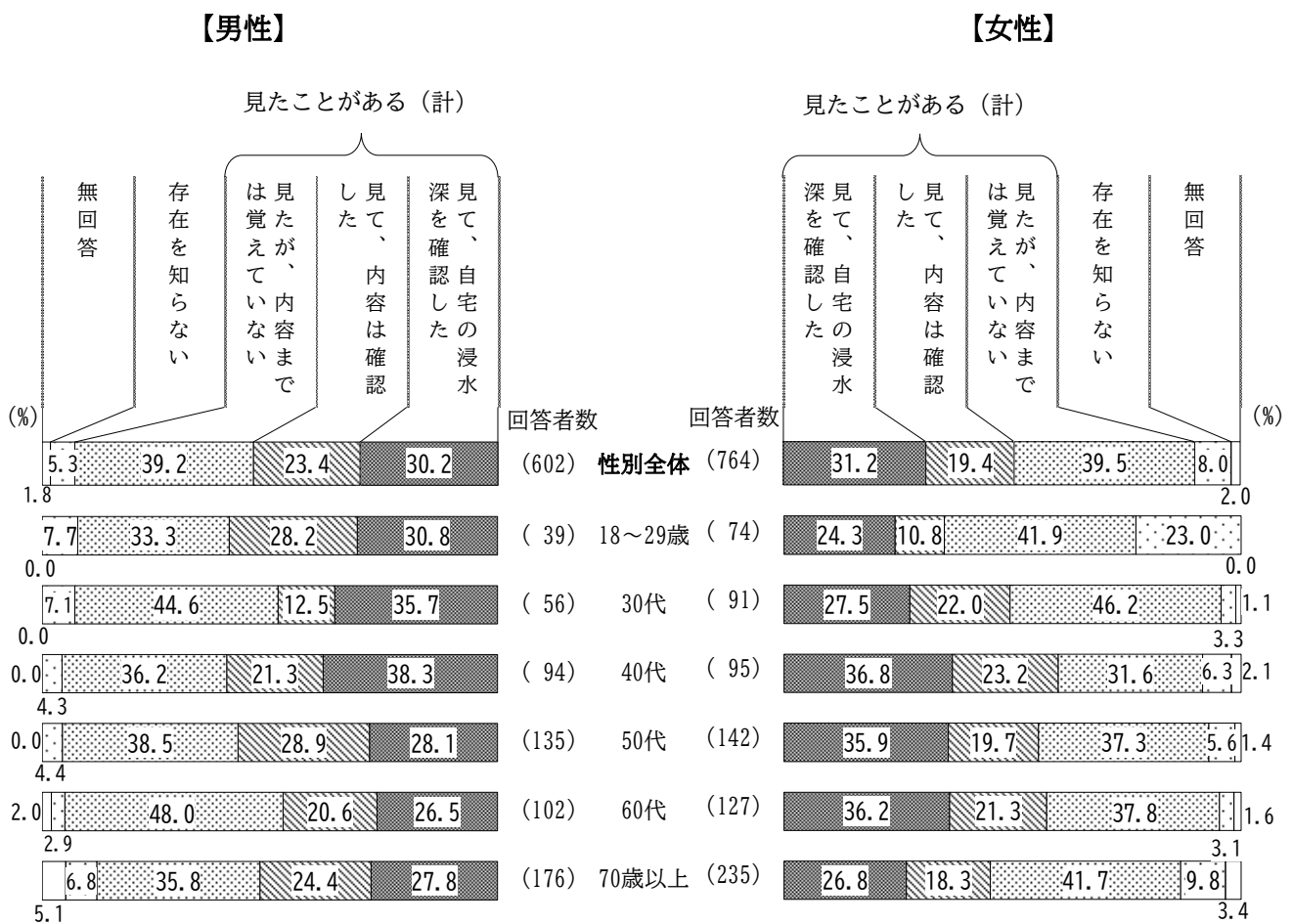


ウ クロス集計・性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知

(ア) 性別では特に大きな違いはみられない。

(イ) 性・年代別でみると、「見て、自宅の浸水深を確認した」は男性の30～40代と女性の40～60代で3割台後半と高く、女性の18～29歳で24.3%と最も低くなっている。【見たことがある】でみると、男性の40～60代と女性の30代、60代で9割台後半と高く、女性の18～29歳で77.0%と最も低くなっている。

図3-1-3 性別、性・年代別／「足立区洪水・内水・高潮ハザードマップ」の認知



(2) 河川はん濫時の避難場所

問8 河川がはん濫する恐れがある場合、あなたはどこに避難しますか（○は1つだけ）。

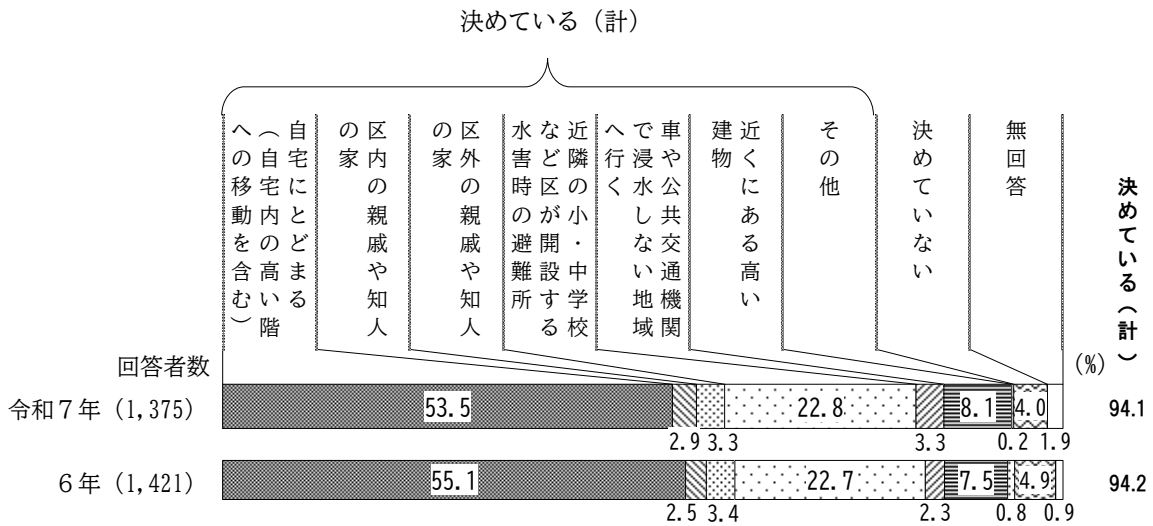
■「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」が9割台半ば

ア 単純集計・前回調査比較／河川はん濫時の避難場所

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合の避難場所は、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」が94.1%を占めており、「決めていない」は4.0%となっている。

(イ) 前回調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

図3-2-1 前回調査比較／河川はん濫時の避難場所

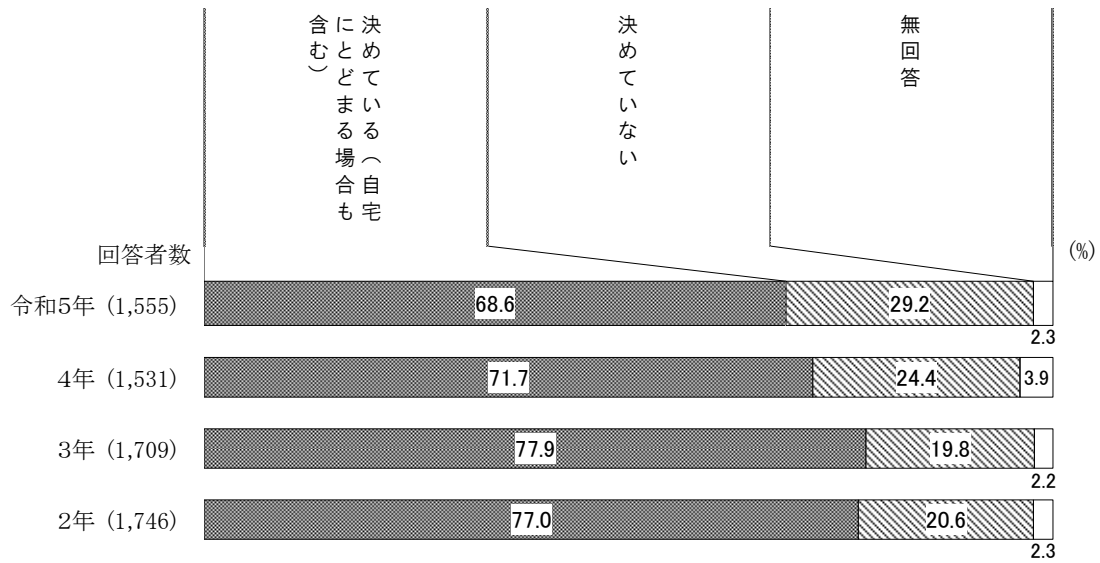


第3章 調査結果の分析〈洪水対策〉

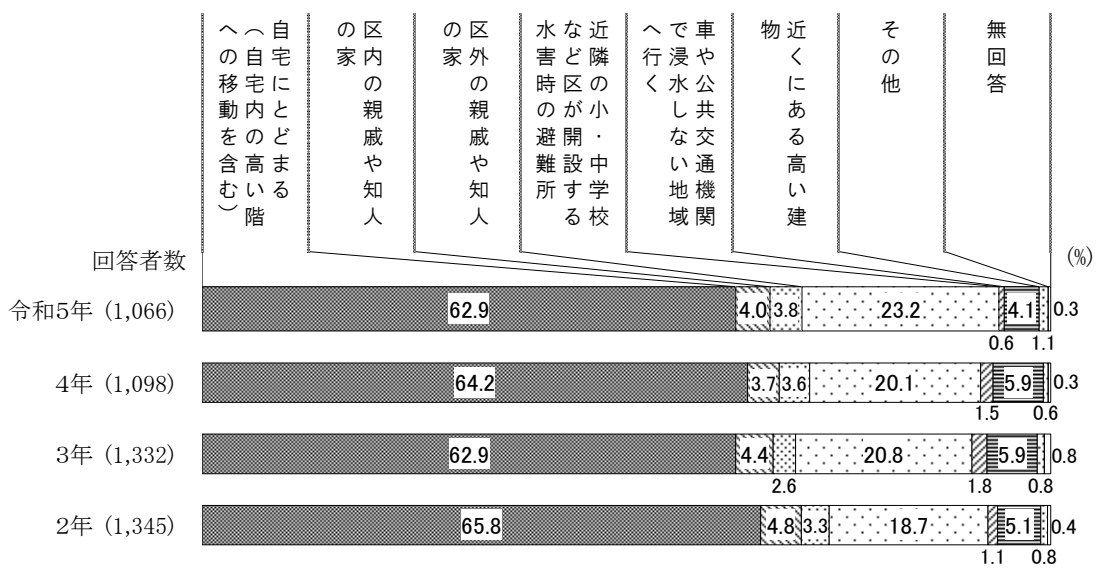
参考／河川はん濫時の避難場所の事前決定状況と決めている場合避難場所

問 あなたは、河川が氾濫する恐れがある場合、避難する場所を事前に決めていますか。

(○は1つだけ)



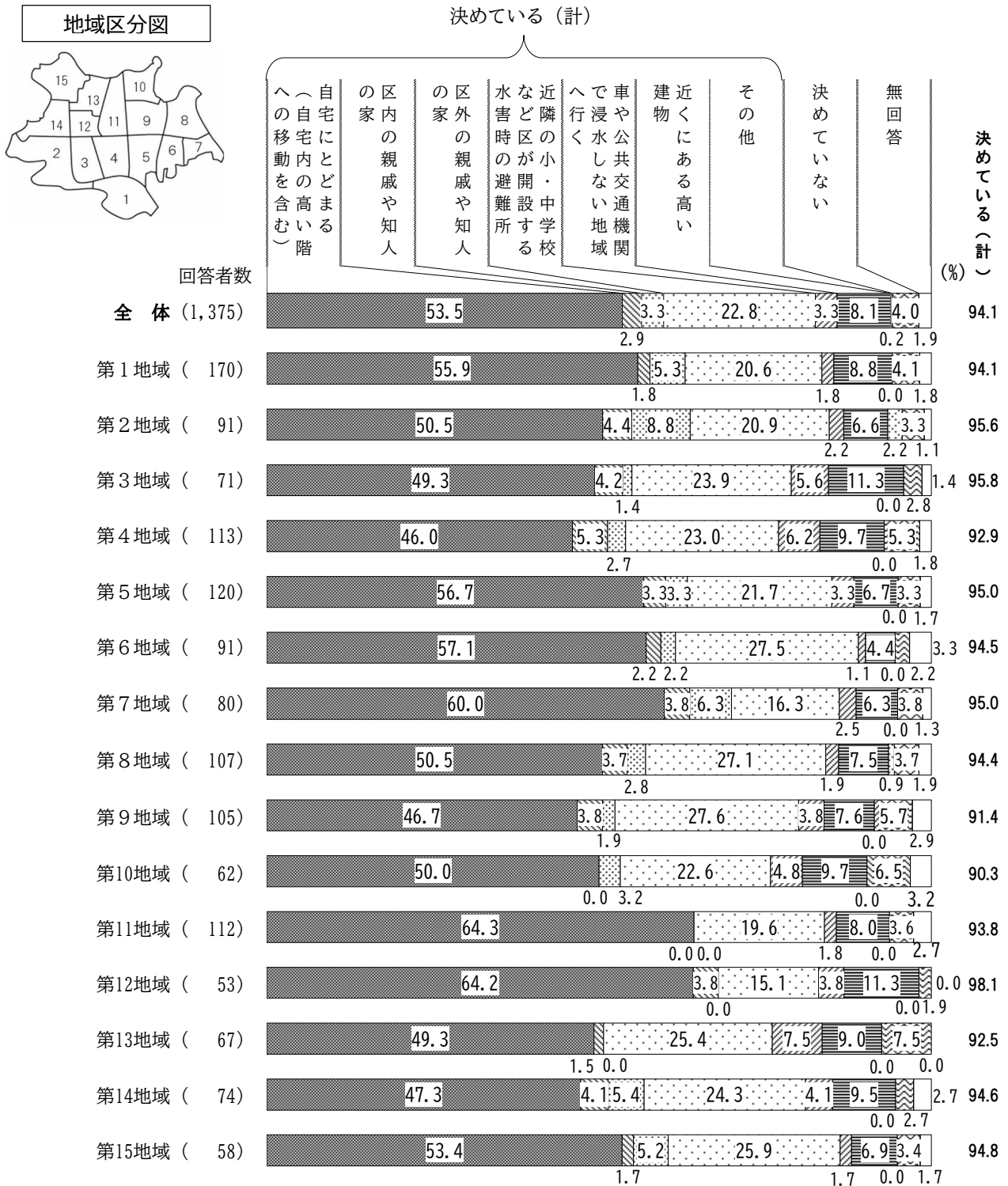
問 あなたが、避難する場所はどこですか。(○は1つだけ)



イ クロス集計・地域別／河川はん濫時の避難場所

地域別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は第12地域が98.1%と最も高く、次いで第3地域が95.8%となっている。一方、第10地域が90.3%と最も低く、次いで、第9地域が91.4%となっている。

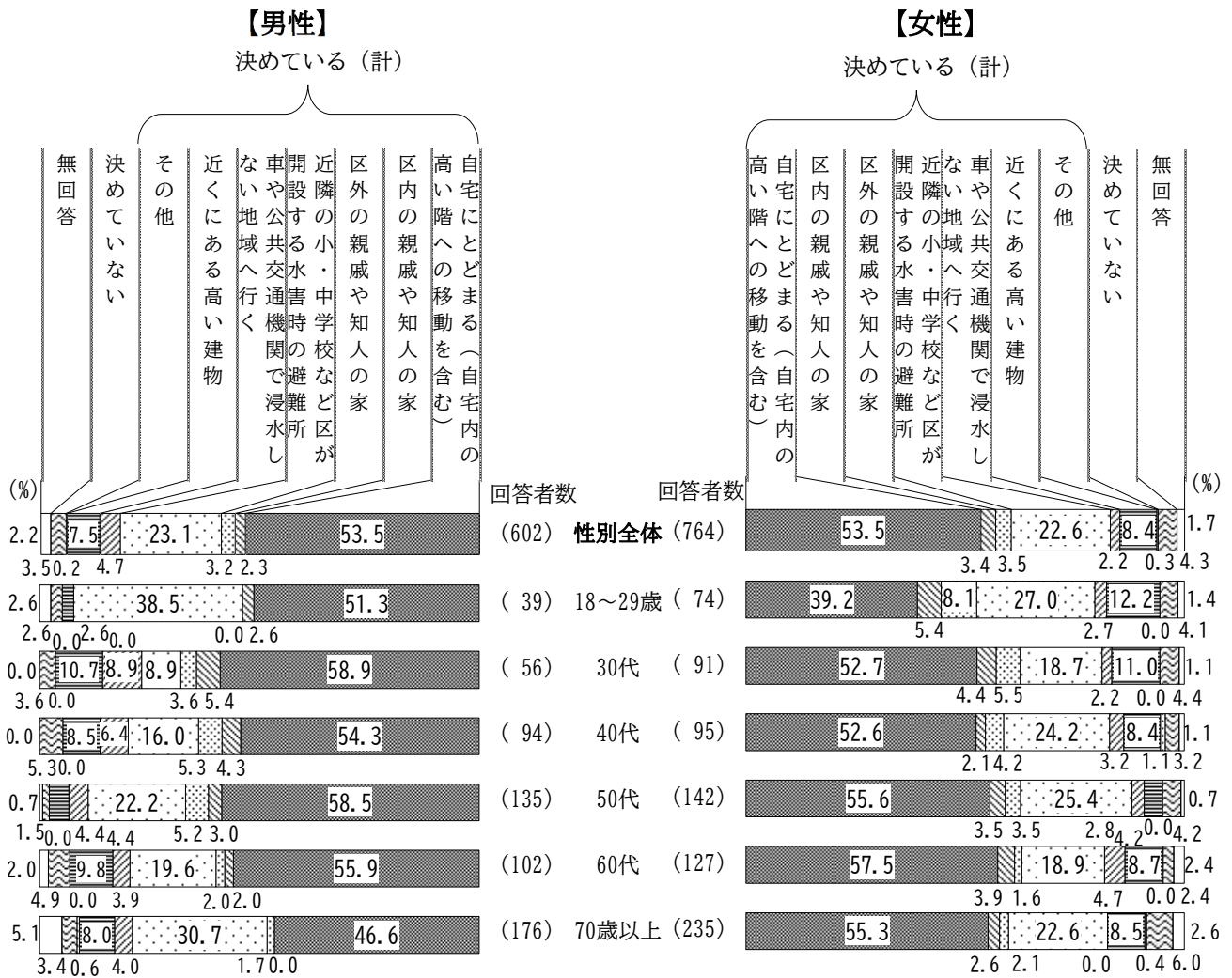
図3-2-2 地域別／河川はん濫時の避難場所



ウ クロス集計・性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所

- (ア) 性別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は、特に大きな違いは見られない。
- (イ) 性・年代別にみると、「決めている（自宅にとどまる場合も含む）」は男性の50代が97.8%と最も高く、次いで男性の30代（96.4%）となっている。逆に男女とも70歳以上で91.5%と最も低くなっている。

図3-2-3 性別、性・年代別／河川はん濫時の避難場所



(3) 河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

問8で「8 決めていない」とお答えの方に

問8-1 避難する場所を決めていない理由は何ですか（○は1つだけ）。

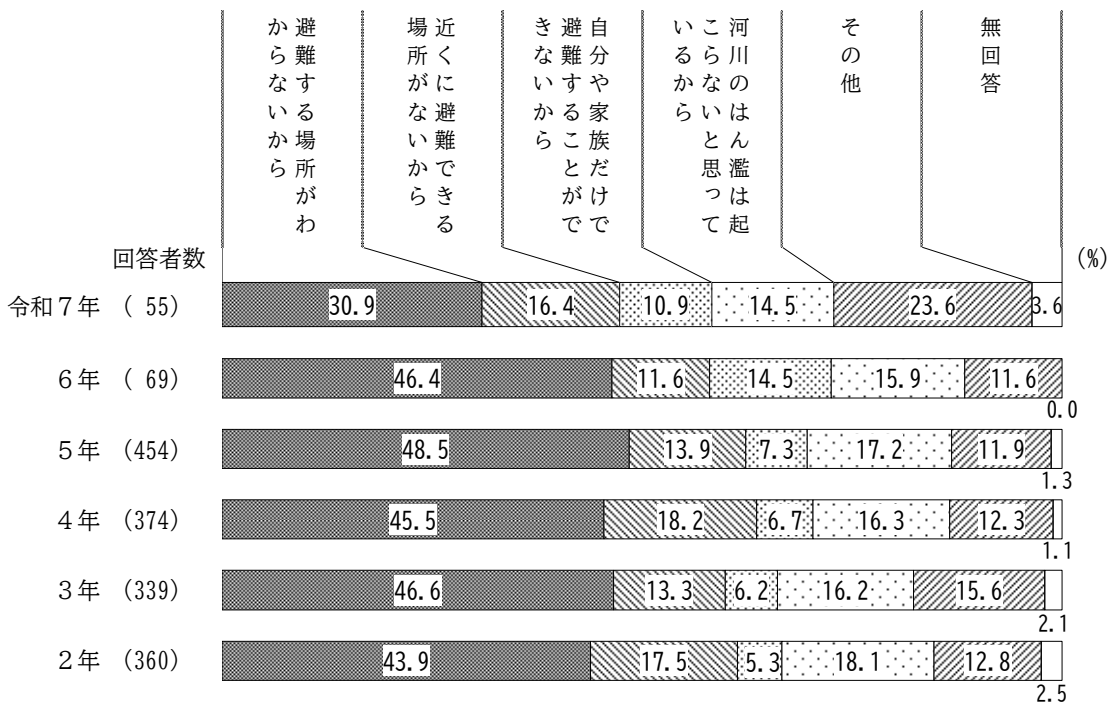
■「避難する場所がわからないから」が3割

ア 単純集計・経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由

(ア) 河川はん濫の恐れがある場合に避難する場所を事前に「決めていない」と回答した人に、決めていない理由を聞いた結果、「避難する場所がわからないから」が30.9%と最も高く、次いで「その他」(23.6%)、「近くに避難できる場所がないから」(16.4%) などとなっている。

(イ) 前回調査との比較については、「避難する場所がわからないから」が約15ポイント減少し、「その他」が12ポイント増加している。「その他」の内容をみると、「その時の状況による」、「ペットを受け入れてもらえるところ」等の理由が挙げられている。

図3-3-1 経年比較／河川はん濫時の避難場所を決めていない理由



※令和5年度までは、先ず避難場所の決定状況を聞き、次の質問で「決めている」と答えた方には避難場所を聞き、「決めていない」と答えた方には決めていない理由を聞いているので、令和5年度までと、令和6年度の結果は単純には比較できないため、上記の図は参考までに図示したものである。